

## 新規採用・削除医薬品等通知

## 新規採用医薬品通知

(薬品名)	イニシンク配合錠	劇	市販直後調査 平成 28 年 11 月～平成 29 年 5 月
(英名)	INYSYNK Combination Tablets		
(規格・含有量)	アログリプチンとして 25 mg(アログリプチン安息香酸塩として 34 mg)/メトホルミン塩酸塩 500 mg		
(一般名)	アログリプチン/メトホルミン塩酸塩		
(メーカー名)	武田薬品工業株式会社		
【薬価収載日】	2016 年 11 月		
【薬価】	174.20 円		
【薬効コード】	873969		
【薬効分類名】	選択的 DPP- 4 阻害薬/ビグアナイド系薬配合剤(2 型糖尿病治療剤)		
効能・効果	2 型糖尿病 ただし、アログリプチン安息香酸塩及びメトホルミン塩酸塩の併用による治療が適切と判断される場合に限る。		
用法・用量	通常、成人には1日1回1錠(アログリプチン/メトホルミン塩酸塩として25mg/500mg)を食直前又は食後に経口投与する。		
禁忌	①次に示す状態の患者[メトホルミンにより乳酸アシドーシスを起こしやすい] 1) 乳酸アシドーシスの既往 2) 中等度以上の腎機能障害[腎臓におけるメトホルミン及びアログリプチンの排泄が減少する。] 3) 透析患者(腹膜透析を含む)[高い血中メトホルミン濃度が持続するおそれがある。] 4) 重度の肝機能障害[肝臓における乳酸の代謝能が低下する。] 5) ショック、心不全、心筋梗塞、肺塞栓など心血管系、肺機能に高度の障害のある患者及びその他の低酸素血症を伴いやすい状態[乳酸産生が増加する。] 6) 過度のアルコール摂取者[肝臓における乳酸の代謝能が低下する。] 7) 脱水症、脱水状態が懸念される下痢、嘔吐等の胃腸障害のある患者 ②重症ケトーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1 型糖尿病の患者[輸液、インスリンによる速やかな高血糖の是正が必須となるので本剤の投与は適さない。] ③重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者[インスリン注射による血糖管理が望まれるので本剤の投与は適さない。また、メトホルミンにより乳酸アシドーシスを起こしやすい。] ④栄養不良状態、飢餓状態、衰弱状態、脳下垂体機能不全又は副腎機能不全の患者[低血糖を起こすおそれがある。] ⑤妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 ⑥本剤の各成分又はビグアナイド系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者		
相互作用	<b>本剤作用増強</b> $\beta$ -遮断薬、サリチル酸製剤、モノアミン酸化酵素阻害薬、フィブрат系の高脂血症治療薬、ワルファリン、蛋白同化ホルモン剤等、シメチジン <b>本剤作用減弱</b> アドレナリン、副腎皮質ホルモン、甲状腺ホルモン、卵胞ホルモン、利尿剤、ピラジナミド、イソニアジド、ニコチン酸、フェノチアジン系薬剤等 <b>本剤他剤作用増強</b> 糖尿病用薬(スルホニルウレア剤(グリメピリド、グリベンクラミド、グリクラジド、トルブタミド等)、速効型インスリン分泌促進薬(ナテグリニド、ミチグリニドカルシウム水和物、レパグリニド)、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤(ボグリボース、アカルボース、ミグリトール)、チアゾリジン系薬剤(ピオグリタゾン塩酸塩)、GLP-1 受容体作動薬(リラグルチド、エキセナチド、リキシセナチド)、糖尿病用薬(スルホニルウレア剤(グリメピリド、グリベンクラミド、グリクラジド、トルブタミド等)、速効型インスリン分泌促進薬(ナテグリニド、ミチグリニドカルシウム水和物、レパグリニド)、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤(ボグリボース、アカルボース、ミグリトール)、チアゾリジン系薬剤(ピオグリタゾン塩酸塩)、GLP-1 受容体作動薬(リラグルチド、エキセナチド、リキシセナチド)、SGLT2 阻害剤(イプラグリフロジン、エムペロリン、ダバグリフロジンプロピレングリコール水和物、トホグリフロジン水和物、ルセオグリフロジン水和物等)、インスリン製剤 <b>その他</b> ヨード造影剤、腎毒性の強い抗生物質(ゲンタマイシン等)、利尿作用を有する薬剤(利尿剤等)		

副作用	<b>重大な副作用:</b> 乳酸アシドーシス、低血糖、急性膵炎、肝機能障害、黄疸、皮膚粘膜眼症候群、横紋筋融解症、腸閉塞、間質性肺炎、類天疱瘡 <b>その他:</b> 5%以上の記載なし
-----	---

(薬品名)	<b>インスリングルルギン BS 注ミリオペン</b> <b>「リリー」300 単位/3mL</b>	劇
(英名)	Insulin Glargine BS Inj.[Lilly]	
(規格・含有量)	[インスリングルルギン後続 1]300 単位	
(一般名)	インスリングルルギン(遺伝子組換え)	
(メーカー名)	日本イーライリリー株式会社	
【薬価収載日】	2015 年 5 月	
【薬価】	1,612 円	
【薬効コード】	872492	
【薬効分類名】	持効型溶解インスリンアナログ製剤	
効能・効果	インスリン療法が適応となる糖尿病	
用法・用量	通常、成人では、初期は1日1回4～20単位を皮下注射するが、ときに他のインスリン製剤を併用することがある。注射時刻は朝食前又は就寝前のいずれでもよいが、毎日一定とする。投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて増減する。なお、その他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常1日4～80単位である。ただし、必要により上記用量を超えて使用することがある。	
禁忌	①低血糖症状を呈している患者 ②本剤の成分又は他のインスリングルルギン製剤に対し過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	<b>本剤作用増強</b> 糖尿病用薬(ビグアナイド系薬剤、スルホニルウレア系薬剤、速効型インスリン分泌促進剤、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤、チアゾリジン系薬剤 DPP-4 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬、SGLT2 阻害剤等)、モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤、三環系抗うつ剤(ノルトリプチリン塩酸塩等)、サリチル酸誘導体(アスピリン、エテンザミド)、抗腫瘍剤(シクロホスファミド水和物)、クマリン系薬剤(ワルファリンカリウム)、クロラムフェニコール、サルファ剤、シベンゾリンコハク酸塩、ジソピラミド、ピルメノール塩酸塩水和物、フィブラート系薬剤、レセルピン <b>本剤作用減弱</b> チアジド系利尿剤(トリクロルメチアジド)、ループ利尿剤(フロセミド)、副腎皮質ステロイド(プレドニゾン、トリアムシノロン)、ACTH(テトラコサクチド酢酸塩)、アドレナリン、グルカゴン、甲状腺ホルモン(レボチロキシナトリウム水和物、乾燥甲状腺)、成長ホルモン(ソマトロピン)、卵胞ホルモン(エチニルエストラジオール、結合型エストロゲン)、経口避妊薬、ニコチン酸、濃グリセリン、イソニアジド、ダナゾール、フェニトイン、ブセリン酢酸塩、フェノチアジン誘導体、 <b>その他</b> 蛋白同化ステロイド(メスタノロン)、ソマトスタチンアナログ製剤(オクトレオチド酢酸塩、ランレオチド酢酸塩)、ペンタミジンイセチオン酸塩、 $\beta$ -遮断剤(プロプラノロール塩酸塩、アテノロール、ピンドロール、セリプロロール塩酸塩等)、炭酸リチウム、クロニジン	
副作用	<b>重大な副作用:</b> 低血糖、ショック、アナフィラキシー、血管神経性浮腫 <b>その他:</b> 5%以上の記載なし	

(薬品名)	ジメンシー配合錠	劇 市販直後調査 平成 29 年 2 月～平成 29 年 8 月
(英名)	Ximency Combination Tablets	
(規格・含有量)	ダクラタスビル塩酸塩 16.5mg(ダクラタスビルとして 15mg)/アスナプレビル 100.0mg/ベクラブビル塩酸塩 39.6mg(ベクラブビルとして 37.5mg)	
(一般名)	ダクラタスビル/アスナプレビル/ベクラブビル	
(メーカー名)	ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社	
【薬価収載日】	2017 年 2 月	
【薬価】	11,528.80 円	
【薬効コード】	87625	
【薬効分類名】	抗ウイルス剤	
効能・効果	セログループ 1(ジェノタイプ 1)の C 型慢性肝炎又は C 型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善	
用法・用量	通常、成人には1回2錠を1日2回食後に経口投与し、投与期間は12週間とする。	
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②中等度以上(Child-Pugh 分類 B 又は C)の肝機能障害又は非代償性肝疾患のある患者[アスナプレビルの血中濃度が上昇する。] ③次の薬剤を使用中の患者:禁忌薬剤は相互作用の欄に記載	
相互作用	<b>本剤作用増強 禁忌:</b> イトラコナゾール(イトリゾール)、フルコナゾール(ジフルカン)、ホスフルコナゾール(プロジフ)、ボリコナゾール(ブイフェンド)、ミコナゾール(経口剤又は注射剤)(フロリード)、クラリスロマイシン(クラリス)、エリスロマイシン(エリスロシン)、ジルチアゼム(ヘルベッサ)、ベラパミル塩酸塩(ワソラン)、コピシスタットを含有する製剤(スタリビルド、ゲンボイヤ)、テラプレビル(テラビック)、リトナビル(ノービア)、アタザナビル硫酸塩(レイアタツ)、インジナビル硫酸塩エタノール付加物(クリキシバン)、サキナビルメシル酸塩(インビラーゼ)、ダルナビルエタノール付加物(プリジスタ)、ネルフィナビルメシル酸塩(ビラセプト)、ホスアンブレナビルカルシウム水和物(レクシヴァ)、ロピナビル/リトナビル(カレトラ)、オムビタスビル水和物/パリタプレビル水和物/リトナビル(ヴェキラックス)、シクロスポリン(サンディミュン) <b>本剤作用減弱 禁忌:</b> リファンピシン(リファジン)、リファブチン(ミコブチン)、フェニトイン(アレビアチン)、ホスフェニトインナトリウム水和物(ホストイン)、カルバマゼピン(テグレトール)、フェノバルビタール(フェノバル)、デキサメタゾン全身投与(デカドロン)、モダフィニル(モディオダール)、エファビレンツ(ストックリン)、エトラビルン(インテレンス)、ネビラピン(ピラミュン)、ボセンタン水和物(トラクリア)、セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort, セント・ジョーンズ・ワート)含有食品 <b>他剤作用増強 禁忌:</b> フレカイニド(タンボコール)、プロパフェノン(プロノン) <b>注意:</b> ロスバスタチン、アトルバスタチン、フルバスタチン、シンバスタチン、ピタバスタチン、プラバスタチン、デキストロメトルファン臭化水素酸塩、メトプロロール、ジゴキシン <b>他剤作用減弱 注意:</b> ミダゾラム、オメプラゾール、エスシタロプラム、セルトラリン、エチニルエストラジオール含有製剤(経口避妊薬)	
副作用	<b>重大な副作用:</b> 肝機能障害、肝不全、多形紅斑、血小板減少、間質性肺炎 <b>その他:</b> 好酸球増加症、発熱、ALT(GPT)増加、AST(GOT)増加、高ビリルビン血症	

(薬品名)	ベムリディ錠 25mg	劇 市販直後調査 平成 29 年 2 月～平成 29 年 8 月
(英名)	VEMLIDY Tablets 25mg	
(規格・含有量)	テノホビル アラフェナミド 25mg(テノホビル アラフェナミドフマル酸塩として 28mg)	
(一般名)	テノホビル アラフェナミドフマル酸塩錠	
(メーカー名)	ギリアド・サイエンシズ株式会社	
【薬価収載日】	2017 年 2 月	
【薬価】	996.5 円	
【薬効コード】	87625	
【薬効分類名】	抗ウイルス化学療法剤	
効能・効果	B 型肝炎ウイルスの増殖を伴い肝機能の異常が確認された B 型肝炎慢性疾患における B 型肝炎ウイルスの増殖抑制	
用法・用量	通常、成人にはテノホビル アラフェナミドとして1回25mgを1日1回経口投与する。	

禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②次の薬剤を投与中の患者:禁忌薬剤は相互作用の欄に記載
相互作用	<b>本剤作用減弱 禁忌:</b> リファンピシン(リファジン)、セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)含有食品 <b>注意:</b> リファブチン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、ホスフェニトイン
副作用	<b>重大な副作用:</b> 腎不全等の重度の腎機能障害、乳酸アシドーシス及び脂肪沈着による重度の肝腫大(脂肪肝) <b>その他:</b> 5%以上の記載なし

(薬品名)	<b>ミケルナ配合点眼液</b>
(英名)	Mikeluna combination ophthalmic solution
(規格・含有量)	1mL 中カルテオロール塩酸塩 20mg、ラタノプロスト 50 µg
(一般名)	カルテオロール塩酸塩/ラタノプロスト
(メーカー名)	大塚製薬株式会社
【薬価収載日】	2016年11月
【薬価】	729.2円
【薬効コード】	871319
【薬効分類名】	緑内障・高眼圧症治療剤
効能・効果	緑内障、高眼圧症
用法・用量	1回1滴、1日1回点眼する。
禁忌	①コントロール不十分な心不全、洞性徐脈、房室ブロック(Ⅱ・Ⅲ度)、心原性ショックのある患者[β受容体遮断による刺激伝導系抑制作用・心拍出量抑制作用により、これらの症状が増悪するおそれがある。] ②気管支喘息、気管支痙攣又はそれらの既往歴のある患者、重篤な慢性閉塞性肺疾患のある患者[β受容体遮断による気管支平滑筋収縮作用により、これらの症状が増悪するおそれがある。] ③本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
相互作用	<b>他剤作用増強</b> β遮断剤(全身投与)、交感神経系に対し抑制的に作用する他の薬剤(レセルピン等) <b>本剤他剤作用増強</b> カルシウム拮抗剤(ベラパミル塩酸塩、ジルチアゼム塩酸塩) <b>その他</b> アドレナリン、プロスタグランジン系点眼薬(イソプロピルウノプロストン、ビマトプロスト等)
副作用	<b>重大な副作用:</b> 喘息発作、失神、房室ブロック、洞不全症候群、洞停止等の徐脈性不整脈、うっ血性心不全、冠攣縮性狭心症、虹彩色素沈着、眼類天疱瘡、脳虚血、脳血管障害、全身性エリテマトーデス <b>その他:</b> 5%以上の記載なし

(薬品名)	<b>オブジーボ点滴静注 20mg</b> 劇 <b>オブジーボ点滴静注 100mg</b> 生 物
(英名)	OPDIVO Intravenous Infusion
(規格・含有量)	オブジーボ点滴静注 20mg: ニボルマブ(遺伝子組換え)として 20mg/2mL オブジーボ点滴静注 100mg: ニボルマブ(遺伝子組換え)として 100mg/10mL
(一般名)	ニボルマブ(遺伝子組み換え)
(メーカー名)	小野薬品工業株式会社
【薬価収載日】	2014年9月
【薬価】	20mg :75,100円/100mg :364,925円
【薬効コード】	874291
【薬効分類名】	ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体
効能・効果	根治切除不能な悪性黒色腫 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫 再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌
用法・用量	①根治切除不能な悪性黒色腫 化学療法未治療の根治切除不能な悪性黒色腫患者の場合:通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回3mg/kg(体重)を2週間間隔で点滴静注する。

	化学療法既治療の根治切除不能な悪性黒色腫患者の場合:通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回3mg/kg(体重)を2週間間隔又は1回2mg/kg(体重)を3週間間隔で点滴静注する。 ②切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌、根治切除不能又は転移性の腎細胞癌、再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫、再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌 通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回3mg/kg(体重)を2週間間隔で点滴静注する。
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
相互作用	<b>その他</b> 生ワクチン、弱毒生ワクチン、不活化ワクチン
副作用	<b>重大な副作用</b> :間質性肺疾患、重症筋無力症、心筋炎、筋炎、横紋筋融解症、)大腸炎、重度の下痢、1型糖尿病、免疫性血小板減少性紫斑病、肝機能障害、肝炎、甲状腺機能障害、神経障害、腎障害、副腎障害、脳炎、重度の皮膚障害、静脈血栓塞栓症、Infusion reaction <b>その他</b> :(10%以上)下痢、悪心、疲労、そう痒症、発疹

(薬品名)	キイトルーダ点滴静注 20mg キイトルーダ点滴静注 100mg	劇 生 物	市販直後調査 平成 29 年 2 月～平成 29 年 8 月
(英名)	KEYTRUDA Injection		
(規格・含有量)	キイトルーダ点滴静注 20mg:ペムプロリズマブ(遺伝子組換え)として 20mg/0.8mL キイトルーダ点滴静注 100mg:ペムプロリズマブ(遺伝子組換え)として 100mg/4mL		
(一般名)	ペムプロリズマブ(遺伝子組み換え)		
(メーカー名)	MSD 株式会社		
【薬価収載日】	2017 年 2 月		
【薬価】	20mg :84,488 円/100mg :410,541 円		
【薬効コード】	874291		
【薬効分類名】	ヒト化抗ヒト PD-1 モノクローナル抗体		
効能・効果	根治切除不能な悪性黒色腫 PD-L1 陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌		
用法・用量	①根治切除不能な悪性黒色腫 通常、成人には、ペムプロリズマブ(遺伝子組換え)として、1回2mg/kg(体重)を3週間間隔で30分間かけて点滴静注する。 ②PD-L1 陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 通常、成人には、ペムプロリズマブ(遺伝子組換え)として、1回200mgを3週間間隔で30分間かけて点滴静注する。		
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ② 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人		
相互作用	記載なし		
副作用	<b>重大な副作用</b> :間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑、類天疱瘡、神経障害、肝機能障害、肝炎、甲状腺機能障害、下垂体機能障害、副腎機能障害、1型糖尿病、腎障害、膵炎、筋炎、横紋筋融解症、重症筋無力症、脳炎、髄膜炎、Infusion reaction <b>その他</b> :(10%以上)下痢、悪心、疲労、そう痒症、発疹		

## 削除医薬品通知

### ●3月31日まで

エアゾリンD1	3/31 削除
ワッサーV 配合顆粒	3/31 削除

### ●4月3日より

アムノレイク錠 2mg	4/3 削除
スンベプラカプセル 100mg	4/3 削除
ダクルインザ錠 60mg	4/3 削除
デタントール 0.01%点眼液 5mL	4/3 削除
ファルネゾンゲル 25g	4/3 削除
ランタス注ソロスター300 単位/3mL	4/3 削除
ペグイントロン皮下注用 100 µg/0.5mL	4/3 削除

## 医薬品剤形変更通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
●4月3日より ブレディニン OD 錠 50mg	ブレディニン錠 50mg

## 後発医薬品採用通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
●4月3日より トリクロルメチアジド錠 2mg 「タイヨー」	フルイトラン錠 2mg

## 適応追加通知

### オゼックス細粒小児用15%

#### 【効能・効果】

〈適応菌種〉

トスフロキサシンに感性の肺炎球菌(ペニシリン耐性肺炎球菌を含む)、モラクセラ(ブランハメラ)・カタラーリス、炭疽菌、コレラ菌、インフルエンザ菌、肺炎マイコプラズマ(マイコプラズマ・ニューモニエ)

〈適応症〉

肺炎、コレラ、中耳炎、炭疽

#### 【用法・用量】

通常、小児に対してはトスフロキサシントシル酸塩水和物として1回6mg/kg(トスフロキサシンとして4.1mg/kg)を1日2回経口投与する。

ただし、1回180mg、1日360mg(トスフロキサシンとして1回122.4mg、1日244.8mg)を超えないこととする。

### タミフルドライシロップ 3%

#### 【効能・効果】

(略)

#### 【用法・用量】

(1) 成人

通常、オセルタミビルとして1回75mgを1日2回、5日間、用時懸濁して経口投与する。

(2) 小児

通常、オセルタミビルとして以下の1回用量を1日2回、5日間、用時懸濁して経口投与する。ただし、1回最高用量はオセルタミビルとして75mgとする。

幼小児の場合:2mg/kg(ドライシロップ剤として66.7mg/kg)

新生児、乳児の場合:3mg/kg(ドライシロップ剤として100mg/kg)

2. 予防に用いる場合

(1) 成人

通常、オセルタミビルとして1回75mgを1日1回、7~10日間、用時懸濁して経口投与する。

(2) 小児

通常、オセルタミビルとして以下の1回用量を1日1回、10日間、用時懸濁して経口投与する。ただし、1回最高用量はオセルタミビルとして75mgとする。

幼小児の場合:2mg/kg(ドライシロップ剤として66.7mg/kg)

### ソバルディ錠 400mg

#### 【効能・効果】

次のいずれかのC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善

1. セログループ2(ジェノタイプ2)の患者

2. セログループ1(ジェノタイプ1)又はセログループ2(ジェノタイプ2)のいずれにも該当しない患者

#### 【用法・用量】

1. セログループ2(ジェノタイプ2)の場合:リバビリンとの併用において、通常、成人にはソホスビルとして400mgを1日1回、12週間経口投与する。

2. セログループ1(ジェノタイプ1)又はセログループ2(ジェノタイプ2)のいずれにも該当しない場合:リバビリンとの併用において、通常、成人にはソホスビルとして400mgを1日1回、24週間経口投与する。

マキユエイド硝子体内注用 40mg

【効能・効果】

○[硝子体内投与] (略)

○[テノン嚢下投与]

下記の疾患に伴う黄斑浮腫の軽減

・糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症、非感染性ぶどう膜炎

【用法・用量】

○[硝子体内投与] (略)

○[テノン嚢下投与]

通常、本剤1バイアルに1mLの生理食塩液又は眼灌流液を注入してトリアムシノロンアセトニド濃度が40mg/mLになるように用時懸濁し、トリアムシノロンアセトニドとして20mg(懸濁液として0.5mL)をテノン嚢下に投与する。

レベトールカプセル 200mg

【効能・効果】

1. インターフェロンアルファ-2b(遺伝子組換え)、ペグインターフェロンアルファ-2b(遺伝子組換え)又はインターフェロンベータとの併用による次のいずれかのC型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善

(1)血中HCV RNA量が高値の患者

(2)インターフェロン製剤単独療法で無効の患者又はインターフェロン製剤単独療法後再燃した患者

2. ペグインターフェロンアルファ-2b(遺伝子組換え)との併用によるC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善

3. ソホスビルとの併用による次のいずれかのC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善

(1)セログループ2(ジェノタイプ2)の患者

(2)セログループ1(ジェノタイプ1)又はセログループ2

(ジェノタイプ2)のいずれにも該当しない患者

4. オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル配合剤との併用によるセログループ2(ジェノタイプ2)のC型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善

【用法・用量】

追記なし



